

平成 25 年度 第 9 回 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会
議事要旨

日時:平成 26 年 1 月 17 日(金)14 時 00 分 - 15 時 30 分

国立精神・神経医療研究センター TMC 棟 2 階 会議室

出席者: 工藤委員長、糸山副委員長、長谷川委員、中村委員、稲田委員、高嶋委員

高坂委員、福田委員、永田委員 (出席委員 9 名/定数 11 名) 掛井書記

オブザーバー: 伊吹事前審査委員

1. 承認課題一覧

受付番号	新規/変更	研究課題	所属	申請者
25-565	新規	新生児低酸素性虚血性脳症の生物学的マーカーの臨床応用に向けた研究	神経研究所 疾病研究第二部	伊藤 雅之
25-566	新規	肢体不自由者のためのゲーム用入力インターフェイスの開発と評価	病院 リハビリテーション部	樋口 智和
25-567	新規	強迫性障害に対する家族の巻き込まれ尺度(FAS-SR)日本語版の信頼性と妥当性の検討、及び家族の巻き込まれに関する実態調査	認知行動療法センター 研修指導部	堀越 勝
25-568	新規	在宅で生活するデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者のグループプログラムについての検討	病院 リハビリテーション科	齋藤 紀久代
25-569	新規	生体情報を用いた覚醒水準評価指標の開発	精神保健研究所 精神生理研究部	三島 和夫
25-570	新規	デュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)患者の病態進行に関連する尿中バイオマーカーの検討(尿中プロスタグランジン代謝物の測定)	病院 小児神経診療部	小牧 宏文
25-571	新規	近赤外時間分解分光法(TRS)および近赤外線分光法(NIRS)を用いた精神疾患・神経疾患の病態に関する研究	病院 第一精神診療部	野田 隆政
25-572	新規	心的外傷後ストレス障害に対する集団版認知処理療法の有効性に関する研究	認知行動療法センター 研修指導部	堀越 勝

25-573	新規	言語記憶評価テスト CVLT-II (California Verbal Learning Test; カリフォルニア言語学習テスト第2版)-日本語版の妥当性検討に関する研究	NCNP 上級専門職	住吉 太幹
25-575	変更	「がん薬物療法の個別適正化プログラム」 遺伝子型に基づくカルバマゼピンのオーダーメイド投薬の検証に関する前向き臨床研究 (GENCAT study)	病院 第一精神診療部	岡崎 光俊
25-576	変更	重度肢体不自由者用のアームサポートの神経・筋疾患患者を対象とした臨床評価	病院 リハビリテーション科	栗沢 広之
25-577	変更	不安障害とうつ病性障害に対する診断横断的な認知行動療法の有効性に関するランダム化比較試験	認知行動療法センター 研修指導部	伊藤 正哉
25-578	変更	複雑性悲嘆の生物学的基盤に関する研究	精神保健研究所 成人精神保健研究部	中島 聡美
25-579	変更	日本における複雑性悲嘆の認知行動療法の適応と有効性に関する研究	精神保健研究所 成人精神保健研究部	中島 聡美
25-580	変更	脊髄小脳変性症に対する継続的自主訓練効果の検討	病院 リハビリテーション科	早乙女 貴子
25-581	変更	パーキンソン病患者に対する認知行動療法プログラムの安全性と実施可能性の検討	認知行動療法センター 研修指導部	堀越 勝
25-582	変更	うつ病の病態維持に関わる前頭葉機能異常と注意制御機能訓練の治療効果	病院 第一精神診療部	野田 隆政

2. 研究終了報告

下記の5課題について、研究終了報告が行われた。

(1) 承認番号: XXXX-101

課題名: アルコール関連問題と自殺関連行動に関する実態調査

申請者: 竹島 正(精神保健研究所 精神保健計画研究部)

(2) 承認番号: XXXX-261

課題名: 側頭葉てんかんにおける記憶と情動の関連についての研究

申請者: 大槻 泰介(病院 脳神経外科診療部)

(3) 承認番号: A2011-073

課題名: 向精神薬乱用・依存に関する実態調査

申請者: 松本 俊彦(精神保健研究所 薬物依存研究部)

(4) 承認番号: A2012-034

課題名: 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査

申請者: 松本 俊彦(精神保健研究所 薬物依存研究部)

(5) 承認番号: A2012-071

課題名: 総合病院通院患者における問題飲酒者の割合とアルコール依存症回復のための社会資源の認知度に関する研究

申請者: 松本 俊彦(精神保健研究所 薬物依存研究部)

3. 検討事項

バイオリソース利活用委員会の行う審査において倫理性と科学性を検討するために十分な体制が整備されたことが確認され、バイオリソース利活用委員会細則案及び委員構成につき了承された。また、バイオリソース利活用委員会による予備審査を踏まえた審査手続きについて、倫理委員会規定及び手順書の整備を今後事務局にて行うことが確認された。